

よりよい地域

づくりを目指して

今泉町内会がボランティア活動

今泉町内会がやまなみライン(県道12号)のやまなみトンネル入り口にある公衆トイレ駐車場の美化と不法投棄防止のためのボランティア活動を6月24日(水)に実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響による外出制限解除などによって、交通量が増える見込みであることから、今回の活動に至りました。また、最近では心無い不法投棄が目立っていることから、抑止のために注意喚起の看板とネットを設置し、周辺には花などを植えました。

活動後、三上義治さんは「みんなが気持ちよく使えるよう、きれいな環境を守る協力をお願いしたい」と呼びかけました。不法投棄は「環境犯罪」とも呼ばれ、景観を損なうばかりか自然を破壊してしまいます。絶対にやめましょう。



釣って、触って、聞いて、見て、学んで!

“さかなと海” ふれあい体験学習を実施

子どもたちに漁業を身近に感じてもらおうと、「さかなと海」ふれあい体験学習が昨年からは始まり、6月19日(金)には、中里小学校、薄市小学校、小泊小学校のそれぞれ5年生が「魚、貝、生き物にふれよう」のテーマのもと、2人1組に分かれて行う釣り体験のほか、小泊漁港の見学、小泊漁業協同組合職員からの講演などで漁業への理解を深めました。最後に、海鮮料理を食べる体験としてサザエカレーの試食が行われ、児童たちは海の幸に舌鼓を打っていました。7月3日(金)には、小泊小学校3年生も同様の内容で体験学習が行われました。

また、小泊中学校2年生が「地元の魅力を考えよう」のテーマのもと、博物館下前分館(旧下前小学校)で博物館の齋藤館長を講師に、昔の漁業で使われた道具などの説明を受け、歴史の観点から漁業への理解を深めました。次に、魚を調理する体験として、下前漁業協同組合婦人部の皆さんを講師に、ウスメバルの調理を体験しました。

この事業は、7ヶ年計画で進められ、学年毎に異なる内容で複数回に分けて体験学習を展開し、町内全校で行う予定です。



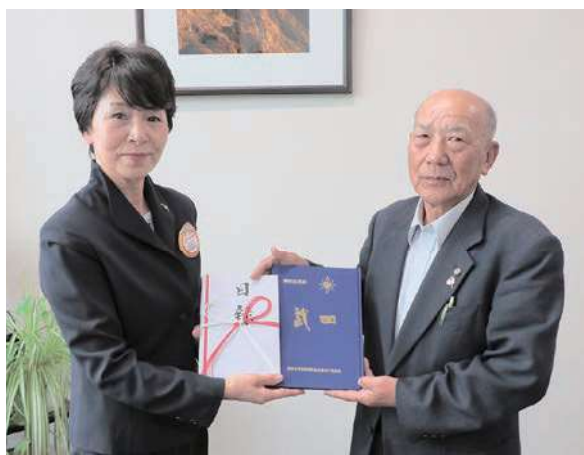
児童向けの図書購入に

元閉校記念実行委らが寄付

平成元年3月に閉校となった旧武田中学校の閉校記念事業実行委員会を務めた2人から、児童向け図書の購入にと米塚教育長へ寄付金が6月26日(金)に手渡されました。

この寄付金は、当時、閉校記事業実行委員会の会費で記念誌を製本し、あとから閉校を知った希望者へ販売し得たお金です。閉校記念事業が終わった後は、記念碑周辺の草刈りなどの維持管理に充ててきました。現在は町が管理を行っており、残金が使われる見込みがなくなったことから、当時実行委員長を務めた奈良清明さん、そして事務局として奔走した秋元武弘さんが話し合い、町に寄付することとなりました。

秋元さんは「少額ですが教育のために役立てたら幸いです」と話しました。また、閉校記念誌は二人の意向を受けて、数に限りがありますが希望者に配布します。詳しくは図書館(☎69-1111)までお問い合わせください。



交流人口拡大を戦略的に

町観光ビジョン推進委員へ辞令

町の観光振興を、計画的に取り組むために昨年度に策定された「中泊町観光ビジョン」の推進のため、6月2日(火)に推進委員の辞令交付が行われました。

「中泊町観光ビジョン」は、地域資源の戦略的活用によって、観光振興を目指していくための計画です。この推進委員会は、計画推進のほか、進捗管理を行います。

明るい、犯罪のない社会のために

社会を明るくする運動メッセージ伝達式

70回目となる「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行防止などを目的にそれぞれが力を合わせて行われる全国的な運動です。7月1日(水)には、中泊町の保護司会と更生保護女性会が参加し、メッセージ伝達式を役場前で行いました。更生保護女性会副会長の菊池愛子さんは法務大臣からのメッセージを、保護司会副会長の山田泰仙さんは青森県知事からのメッセージを手渡し、中泊町の協力を要請しました。一行は、町内パレードで事務所などを訪れ、運動の啓発活動を行いました。この運動は、「更生保護の日」である7月1日から1か月間を強調・再犯防止啓発月間と位置づけて行われています。



辞令が交付されました

米塚鈴子教育長が任期を迎え再任となったことから、辞令書が手渡されました。任期は3年で令和2年6月13日から令和5年6月12日までです。



総会が行われました

厚生労働省が採択した「中泊町生涯現役生き生き活躍プロジェクト～ささえあうまちづくり～」の令和2年度総会が開かれ、令和元年度の活動報告や今年度の活動計画の承認が行われました。

